

# 令和7年度地震・津波防災訓練 (沖縄県豊見城市・内閣府)

## 実施報告書 (概要版)

### 沖縄県豊見城市について

#### 概要

- 沖縄県豊見城市は沖縄本島南部に位置し、令和8年2月時点の人口は65,876人、面積は約19km<sup>2</sup>であり、宅地開発が進み、平成14年の市制施行後、人口が増加している。
- 訓練の実施地区である豊崎地区は、人口5,328人。工業団地用地として平成9年に着工した埋立地であり、周囲を海や河川に囲まれた平坦な土地で、本島へは3本の橋で接続する。那覇空港に近い立地からリゾートホテルやショッピングモール、ビーチなど観光地としても人気で、産業別就業人口では第三次産業が約8割を占める。

#### 主な被害想定

- 沖縄南東沖三連動マグニチュード9クラスなどで最大震度6強、約15分で津波が到達すると予測されている。また、埋立地であることから、液状化の危険性が高い。



## 訓練概要

- 訓練想定：沖縄南東沖三連動マグニチュード9クラスの地震発生により沖縄本島地方に大津波警報が発表され、豊崎地区に15分程度で大津波が到達して甚大な被害が発生。
- 実施日時：【訓練実施前WS】 令和8年1月18日（日）14:00～16:00  
【地震・津波防災訓練】令和8年2月15日（日）9:00～14:00  
【訓練実施後WS】 令和8年2月15日（日）14:00～14:45
- 主催：豊見城市
- アドバイザー：地区防災計画学会員、Life + Life laboratory代表 松村直子氏  
地域防災マネージャー、翁川医学地域研究所特別研究員 賀数淳氏
- 参加者数：約300名
- 参加機関：地域住民、豊崎地区自主防災会、豊崎自治会、豊崎中学校、豊崎小学校、各PTCA・CS、豊崎学童クラブ、豊崎児童クラブ、豊見城市防災士の会
- 訓練項目：シェイクアウト訓練、津波避難訓練、在宅避難者等情報収集・提供訓練、情報伝達訓練、津波防災に関する講演会、ドローンを活用した被害調査体験、炊き出し訓練、防火訓練・煙幕体験、防災資機材・パネル展示
- 訓練の特色：本島へのアクセスが限られた埋立地であり、津波の到達予測時間は15分と避難の時間的余裕がないことから、地区内での垂直避難を浸透させることを訓練の目的としている。  
訓練前ワークショップに加え、10回の事前学習を実施し、地域の災害リスクや避難行動モデルの浸透させる。

## 訓練の成果

### 【成果】

- 津波到達時間が短く、本島へのアクセスの限られた埋立地という地理的な条件であることから、命を守るためには垂直避難・徒歩避難が重要であることを、ワークショップや訓練を通じた繰り返しの啓発により、参加住民に浸透させることができた。
- 訓練前ワークショップや訓練には、訓練会場となった中学校の生徒だけでなく、幼児を含む子供連れの家族も参加し、幅広い参加者層となった。
- ドローン訓練など、市役所主導の訓練だけでなく、住民や自主防災会主体で企画・運営する訓練項目があり、地区住民の防災意識の高さが感じられた。

### 【課題】

- 避難訓練では会場の屋上に避難したが、冬季2月の実施にもかかわらず気温が高かったことから、熱中症対策を考慮した避難を検討する必要がある。

1月18日(日) 14:00～16:00 訓練実施前ワークショップ

- 豊見城市役所及び豊見城市防災士の会による地震の基礎知識や避難方法等に関するミニ講話を実施。参加者は実際の避難経路を豊崎地区の地図に書き込み、どこまで遠くまで逃げられるか試算するワークを行い、堅牢な高い建物への垂直避難を推奨する「豊崎式津波避難モデル」の解説と検証を行った。
- 参加者からは「水平避難では遠くまでは逃げられないと思った」という意見が挙げられた。

▼豊崎地区の地図に避難経路を書き込む



▼総括する  
松村アドバイザー



2月15日(日) 9:00～14:00 地震・津波防災訓練

- シェイクアウト訓練後、近所の住民が徒歩で豊崎中学校に参集し、階段を使用して屋上に避難した。

▼豊崎中学校に避難する住民



▼非常階段を解錠し、屋上に向かう参加者



▼学校教員により掲揚された津波フラッグ



- 津波避難に際して、豊崎中学校のグラウンドでは津波フラッグが掲げられた。屋上に避難した参加者はその場で安否確認を実施し、在宅避難者は自治会のLINEグループで安否確認を実施した。

▼中学生が作成した防災の講演会のチラシ



▼煙ハウス体験



▼ドローン操作を体験する子供



- 豚汁とおにぎりの炊き出し、ドローンの操作体験、煙ハウス体験等を実施した。

2月15日(日) 14:00～14:45 訓練実施後ワークショップ

- 訓練の良かった点、気づいた点について振り返りを実施した。
- 家族連れも多く参加できて良かったという意見が挙げられた。

▼訓練を振り返る参加者



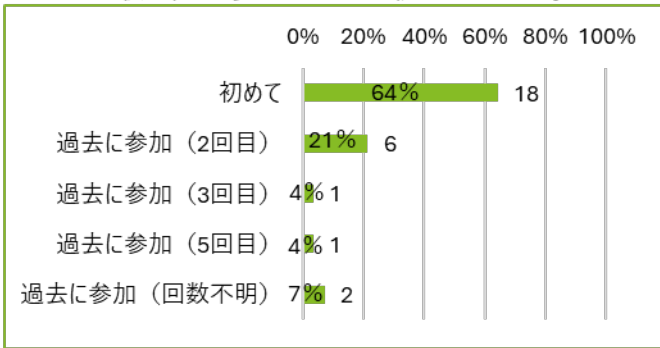
▼ワークショップのまとめ



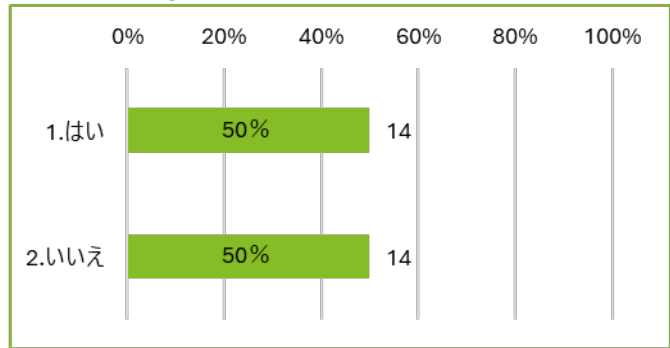
訓練実施前ワークショップアンケート結果

回答数:28

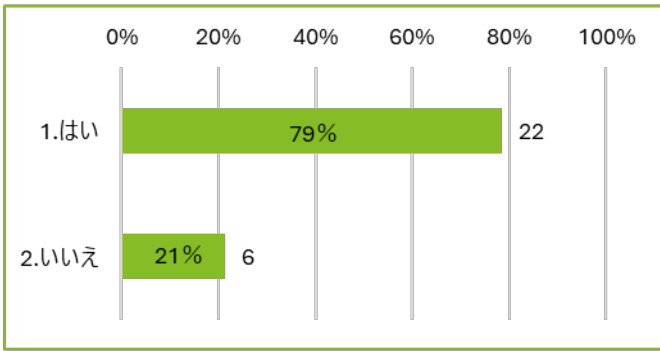
1. 防災訓練やワークショップのような地域防災に関する取り組み参加したのは初めてですか。



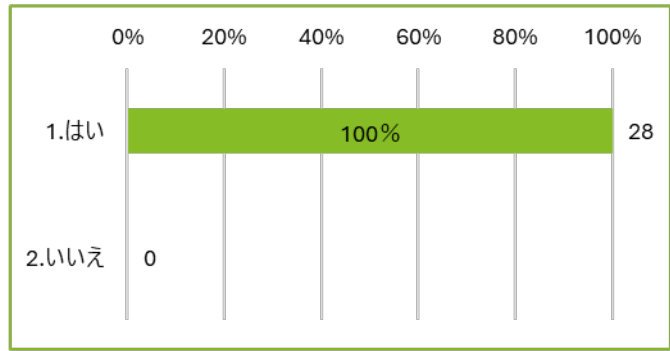
2. 11月5日が「津波防災の日」であることをしていましたか。



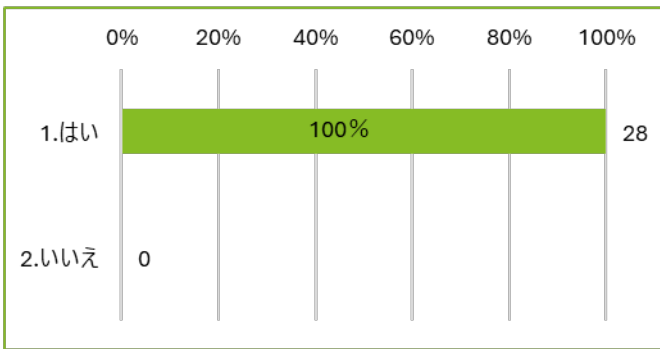
3. 市が作成している「津波ハザードマップ」を見たことはありますか？



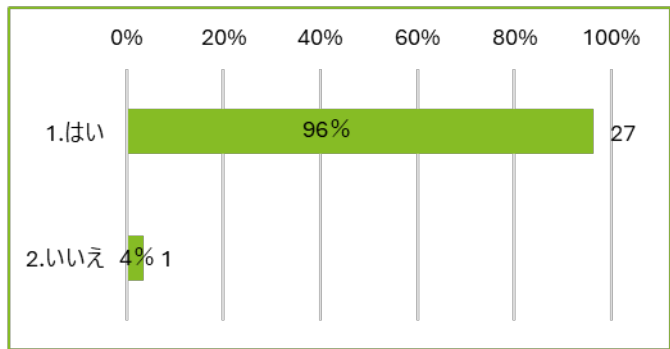
4. 今回のワークショップに参加し、地震・津波が発生した際に、お住まいのどこに、どのような危険があるか理解が深まりましたか？



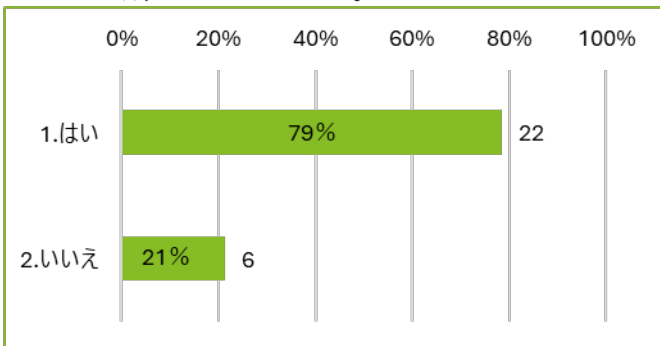
5. 今回のワークショップに参加し、地震・津波が発生した際、どのように命を守ればよいのか、具体的な行動がイメージできましたか



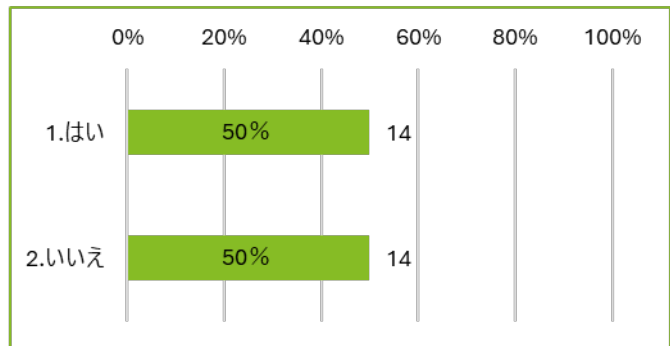
6. 今回のワークショップに参加し、津波から安全な場所に避難するために、どのくらいの時間が必要かイメージできましたか



7. ご自宅や職場から避難所への避難経路に危険な場所はありそうですか。



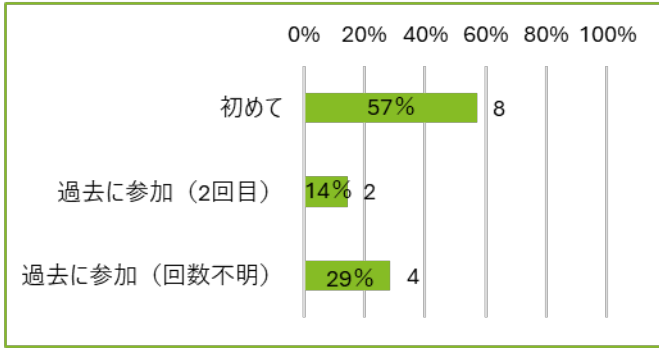
8. 災害時に家族同士でどのように連絡を取り合うか決めていますか。



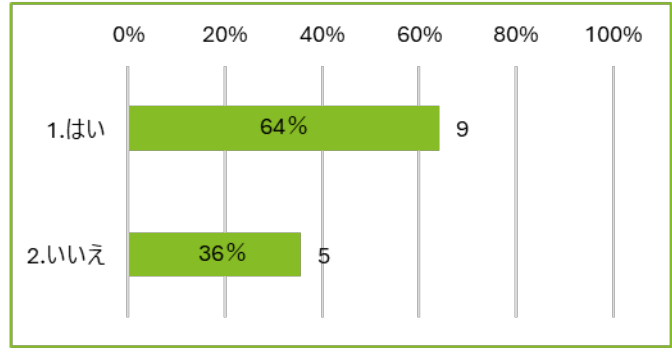
訓練後アンケート結果

回答数：14

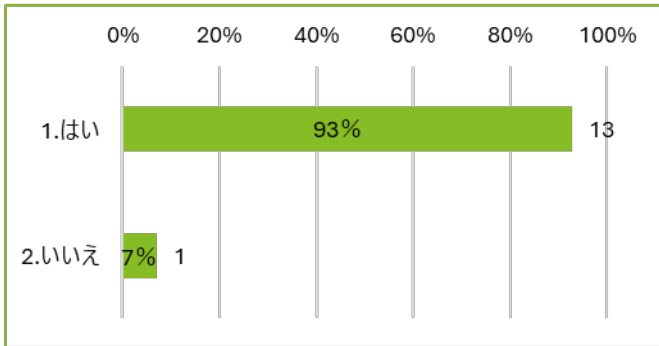
1. 地域の防災訓練に参加したのは初めてですか。



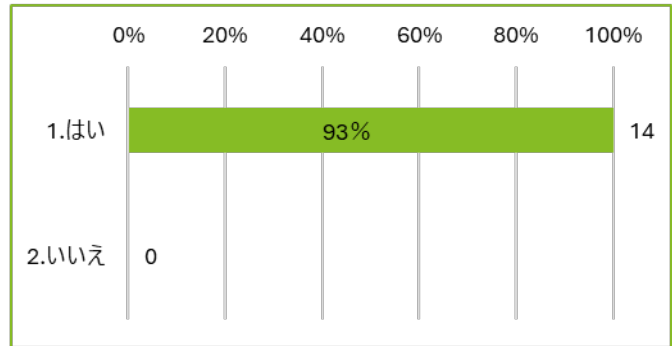
2. 11月5日が「津波防災の日」であることをしていましたか。



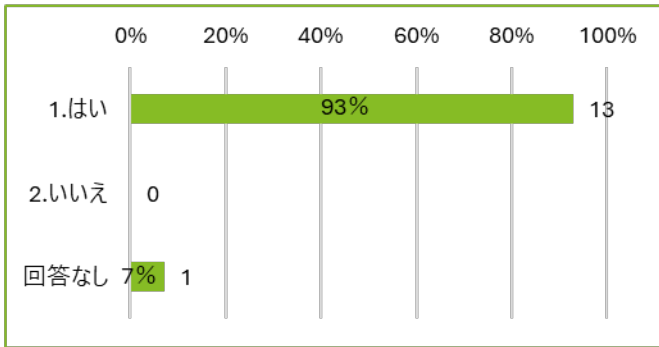
3. 今回の訓練・講演会に参加し、災害に対する自らの備えの課題や改善方法がわかりましたか。



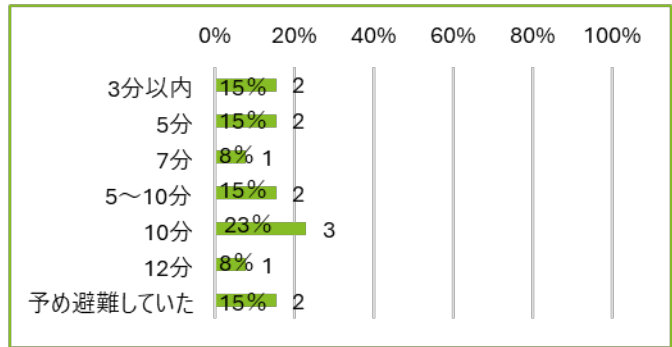
4. 豊見城市が公開している防災マップ（ハザードマップ）を見たことがありますか。



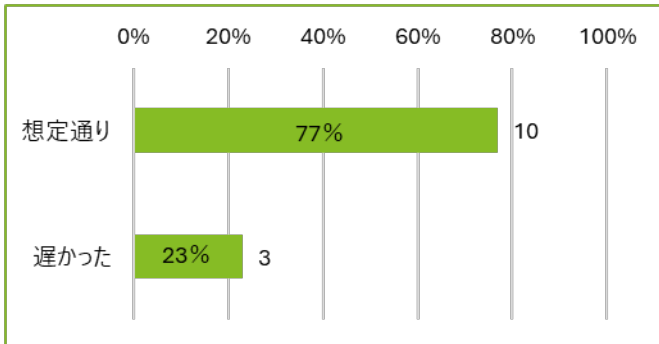
5. 【4で「はい」と回答した方】豊崎地区の災害のリスクを知っていますか。



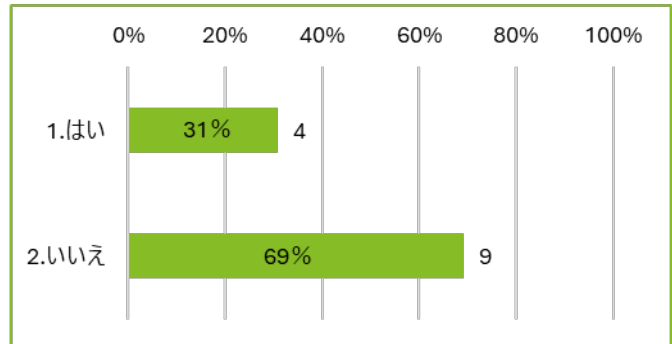
6. 地震発生時の放送が聞こえた場所から、避難先（豊崎中学校屋上、一時避難場所、津波避難施設等）まで何分くらいでしたか。



7. 避難先に到着するまでにかかった時間は想定通りでしたか。



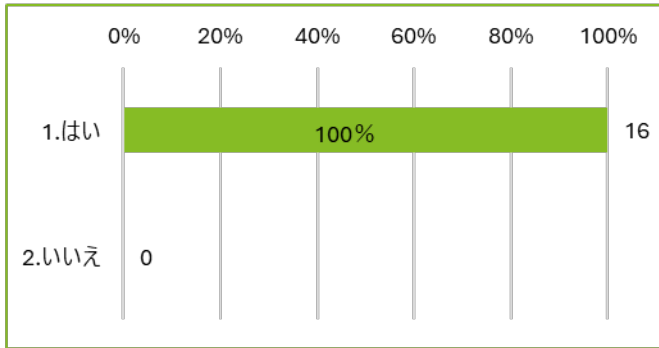
8. 避難経路に危険な場所がありましたか。



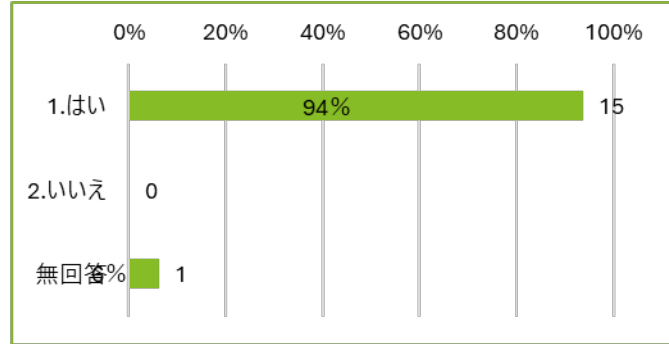
訓練実施後ワークショップアンケート結果

回答数:16

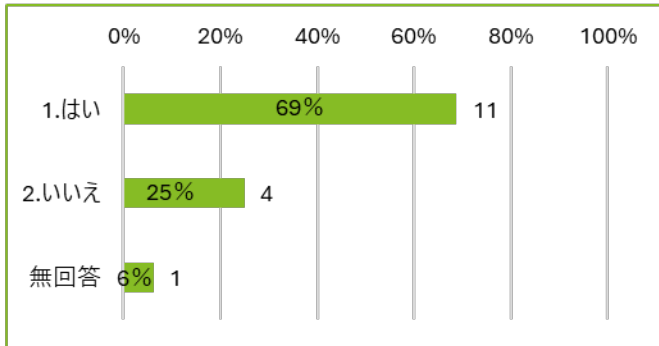
1. 今回のワークショップの内容は、地域の防災対策の強化につながったと思いますか。



2. 今回のワークショップや防災訓練を通じて、災害への備えの意識は高まりましたか。



3. 今回のワークショップを通じて、避難時における課題点や解決策は分かりましたか。



4. 今後どのような防災の取り組みに関心がありますか。（複数回答可）

